

エコアクション21

環境活動レポート

(平成 30年 10月～令和 元年 9月)



発行年月日 令和 元年 10月 25日

有限会社 築山建設

目 次

1. 組織の概要	-----	1
2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日	-----	2
3. 環境方針	-----	3
4. 環境管理組織体制	-----	4
5. 環境目標	-----	5
6. 環境活動計画	-----	6
7. 環境目標の実績	-----	7
8. 環境活動計画の取組結果とその評価	-----	8~11
9. 次年度の環境活動計画の取組内容	-----	12
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	-----	13
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	-----	14

発行日:平成 30年 10月 25日

発行責任者:環境管理責任者 工務部長 矢野雄幸

次回発行予定: 令和 元年 10月 頃

1. 組織の概要

【事業所名】 有限会社築山建設

【代表者氏名】 代表取締役 前田達也

【所在地】

本 社 〒781-0270 高知県高知市長浜5246番地7

倉 庫 〒781-0270 高知県高知市長浜3576番地

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者 工務部長 矢野雄幸

担当者 営業部長 田所邦彦

工務部 松村武展

連絡先 TEL:088-842-3716

FAX:088-842-3729

E-mail:tukiyamakensetu@coffee.ocn.ne.jp

【事業活動の内容】

建設業（主に港湾、河川、道路、下水、水道、の工事を行っています。）

建設業許可

許可番号 :高知県知事許可(特-28)第3251号

許可年月日 :平成28年12月4日

建設業の種類 :土木工事業,とび・土工工事業,鋼構造物工事業,舗装工事業
浚渫工事業,塗装工事業,水道施設工事業,解体工事業

【事業規模】

設立年月日 昭和53年3月1日

資本金 24,000千円

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
完成工事高(千円)	215,664	306,151	322,000	288,000	351,980	356,569	373,081	436,468
従業員数(名)	16	16	16	16	20	20	18	18
事業所敷地面積 (m2)	170	170	170	170	170	170	170	170
事業所延べ床面積(m2)	65	65	133	133	133	133	133	133
倉庫敷地面積 (m2)	762	762	762	762	762	762	762	762
倉庫延べ床面積(m2)	126	126	126	126	126	126	126	126

	平成29年度	平成30年度						
完成工事高(千円)	397,628	349,538						
従業員数(名)	18	18						
事業所敷地面積 (m2)	170	170						
事業所延べ床面積(m2)	133	133						
倉庫敷地面積 (m2)	762	762						
倉庫延べ床面積(m2)	126	126						

従業員数は、毎年9月30日現在

会計年度 10月～9月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲(認証・登録範囲)】

有限会社築山建設 全社(全組織,全活動)

【対象事業所】

本社(住所): 〒781-0270 高知県高知市長浜5246番地7号 (常駐者: 18 名)

倉庫(住所): 〒781-0270 高知県高知市長浜3576番地 (常駐者: 0 名)

【事業活動】

建設業 [土木工事業,とび・土工工事業,鋼構造物工事業,舗装工事業
 浚渫工事業,塗装工事業,水道施設工事業,解体工事業

【レポートの対象期間】

平成30年10月～令和元年9月

【環境活動レポートの発行日】

令和 元年 10月 25日

【作成責任者】

環境管理責任者 工務部長 矢野雄幸

3. 環境方針

【環境理念】

有限会社築山建設は、安全な国土・社会の形成を礎に地球環境に優しい企業として、環境保全活動に積極的に取り組みます。また地域社会の一員である事を自覚し、企業の社会的責任を果たし、社会の未来に貢献するために、積極的に、省資源・省エネルギー化を図り、低炭素で環境負荷の少ない循環型社会の実現への取り組みを推進します。

【基本方針】

1. 建設業として地域社会との調和を図り、環境に配慮した工事を推進します。
2.
 - ① 重機・車輛の燃料使用量の削減及び節電により、二酸化炭素排出量を削減します。
 - ② 節水活動により建設現場・事務所の使用水量を削減します。
 - ③ 建設現場及び事務所における廃棄物の排出量を削減し、分別を徹底して再資源化による廃材リサイクルの向上を推進します。
 - ④ 事務用品及び建設資機材のグリーン購入を進め、環境に優しい事業活動を行います。
 - ⑤ 地域周辺(県道・海岸・河川)に対してボランティア活動への参加を積極的に行います。
 - ⑥ 環境負荷の少ない工事を促進します。
3. 環境関連法規並びに条例を遵守します。
4. 全従業員に対し環境方針を周知徹底するとともに、全社的に取り組み環境活動レポートを作成し広く外部に公表します。

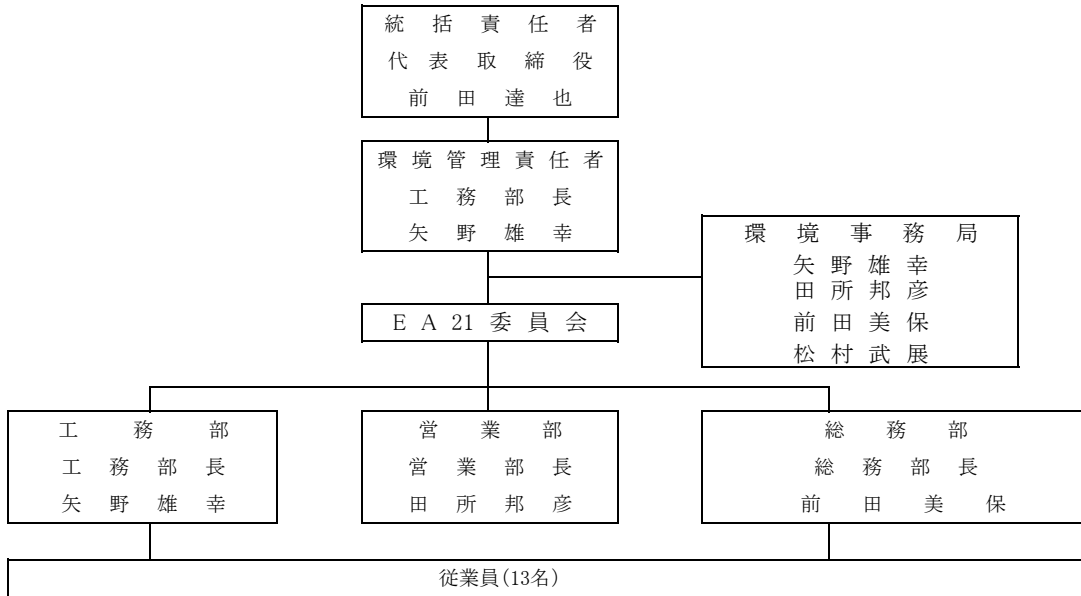
制定日:平成 23 年 9 月 10 日

改定日:平成 25 年 10 月 1 日

有限会社築山建設

代表取締役 前田 達也

4. 環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割、責任、権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、時間、技能、技術者の準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ通知 ・環境目標・環境活動計画を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・環境目標・環境活動計画を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進の事務局として機能 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動計画原案の作成 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・環境活動の実績集計
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の実績の評価 ・環境活動の方向性の決定 ・環境目標の見直し
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境目標

(1) 単年度目標

		単位	平成21年度 基準年 H21.10-H22.9	H30年度目標 基準年より9%減 H30.10-R1.9
灯油使用量		(ℓ)	480	437
ガソリン使用量		(ℓ)	10,142	9,229
軽油使用量		(ℓ)	36,264	33,000
電力使用量		(kWh)	12,300	11,193
CO ₂ 排出量	総排出量	(kg-CO ₂)	124,918	113,675
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	0.577	0.525
水使用量		(m ³)	74	67
一般廃棄物排出量		(t)	2.5	2.28
産業廃棄物排出量		(t)	989	900
産業廃棄物再資源化率		(%)	99	97
グリーン購入量		(%)	70	90
環境美化活動		回	12	12
環境負荷の少ない工事件数		(%)	70	100

(2) 中長期目標

		H21年度 H21.10~H22.9 (基準年)	H30年度 目標 基準年より9%減	R1年度 目標 基準年より10%減	R2年度 目標 基準年より11%減	R3年度 目標 基準年より12%減
灯油使用量(ℓ)		480	437	432	427	422
ガソリン使用量(ℓ)		10,142	9,229	9,128	9,026	8,925
軽油使用量(ℓ)		36,264	33,000	32,638	32,275	31,912
電力使用量(kWh)		12,300	11,193	11,070	10,947	10,824
CO ₂ 排出量	総排出量(kg-CO ₂)	124,918	113,675	112,426	111,177	109,928
	原単位(kg-CO ₂ /百万円)	0.577	0.525	0.519	0.514	0.508
水使用量(m ³)		74	67	67	66	65
一般廃棄物排出量(t)		2.5	2.28	2.25	2.23	2.2
産業廃棄物排出量(t)		989	900	890	880	870
産業廃棄物再資源化率(%)		99	97	97	97	97
グリーン購入量(%)		70	90	90	90	90
環境美化活動(回)		12	12	12	12	12
環境負荷の少ない工事件数(%)		70	100	100	100	100

①購入電力のCO₂排出係数について

※基準年の購入電力のCO₂排出係数は平成22年12月27日公表の四国電力の実排出係数0.407kg-CO₂/kWhを使用した。

※去年度より購入電力のCO₂排出係数は平成29年12月21日公表の四国電力の実排出係数0.529kg-CO₂/kWhを使用。

②グリーン購入量(%)は、事務用品全体の購入金額に占めるグリーン購入金額の割合。

③環境負荷の少ない工事とは

- ・環境負荷の少ない材料(リサイクル製品、県産品等)の使用。
- ・低騒音、排ガス対策型重機の使用。
- ・濁水・騒音・振動・粉塵防止対策の実施。

6. 環境活動計画

期間 平成30年10月～平成31年9月

項目	活動内容	担当者	期限
CO ₂ 排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○重機のアイドリングストップ活動の推進 ○給油量を記録させ燃料使用量を計算する ○現場間の移動の際は最短距離などを考慮し消費量を抑える ○定期的な車輛の保守点検 ○タイヤの空気圧の点検 ○過積載・速度超過をしない ○不要物を積み込まない ○急発進・急加速の禁止 ○渋滞を避け、時間に余裕をもって出発する 	矢野 雄幸	平成31年9月
	<ul style="list-style-type: none"> ○パソコンは使用時以外は電源を切る ○退席、退社時に必要の無い電気製品についてはコンセントを抜くなどして、待機電力の削減を図る ○エアコンの温度管理を行う(夏季28度以上、冬季20度以下) ○昼休み及び不使用部屋の消灯を行う ○LED照明を導入していく ○ウォームビズ・クールビズを推奨する(扇風機の適用等) 	松村 武展	平成31年9月
水使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○使用に際してはこまめに蛇口の締め忘れがないかを確認する ○事務所内の清掃及び散水は地下水(井戸)を使用する ○雨水の貯蔵タンクや雨水利用施設の設置等により、雨水の利用を行う ○節水シール等による節水の注意喚起 ○節水コマの設置 ○洗い物のまとめ洗いの実施 ○漏水の点検 	矢野 雄幸	平成31年9月
廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物は種類別に分別する ○不要になったコピー用紙を再利用する ○リサイクルの促進 ○マニフェストによる適正処理 ○詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により製品等の長期使用を進める ○両面コピーの促進 	矢野 雄幸	平成31年9月
グリーン購入量	<ul style="list-style-type: none"> ○使用物品等はエコマーク商品を増やす様努力する ○環境負荷の少ない建設資材の使用、建設資材の使用合理化に取り組む ○リサイクル品を購入し使用する 	前田 美保	平成31年9月
環境美化活動	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の清掃活動への参加 ○事務所周辺・現場周辺の清掃 ○ロードボランティア・河川愛護団体への参加 ○公共交通エコポイント活用社会活動への参加 	矢野 雄幸	平成31年9月
環境負荷の少ない工事实施	<ul style="list-style-type: none"> ○「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議 ○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、再生骨材RC, RM等)を使用する ○低騒音、排出ガス対策型重機を使用する ○型枠、工事看板に間伐材を使用する(未利用資源の有効利用) ○濁水・振動・騒音・防塵防止対策の実施 ○環境負荷の少ない工法の提案・施工 	矢野 雄幸	平成31年9月

7.環境目標の実績

(1)本年度実績

項目	単位	H21年度	H30年度目標	H30年度実績	目標比 実績値/目標値 (%)	評価	
		基準年 H21.10～H22.09	基準年より9%減 H30.10～R1.09	H30.10～R1.09			
灯油使用量	ℓ	480	437	176	40.3	○	
ガソリン使用量	ℓ	10,142	9,229	22,805	247.1	×	
軽油使用量	ℓ	36,264	33,000	39,904	120.9	×	
電力使用量	kWh	12,300	11,193	11,268	100.7	△	
CO ₂ 排出量	総排出量	kg-CO ₂	124,918	113,675	164,068	144.3	×
	原単位	kg-CO ₂ /百万円	0.577	0.525	0.47	89.5	○
水使用量	m ³	74	67	41	61.2	○	
一般廃棄物排出量	t	2.5	2.28	0.4	17.5	○	
産業廃棄物排出量	t	989	900	182	20.2	○	
産業廃棄物再資源化率	%	99	97	94	96.9	△	
グリーン購入量	%	70	90	90	100.0	○	
環境美化活動	回	12	12	12	100.0	○	
環境負荷の少ない工事件数	%	70	100	100	100.0	○	

①購入電力のCO₂排出係数について

※購入電力のCO₂排出係数は平成29年12月21日公表の四国電力の実排出係数0.529kg-CO₂/kWhを使用した。

※評価 ○-目標達成 ×-目標未達成 △-目標の概ね達成

②環境負荷の少ない工事とは

- ・環境負荷の少ない材料(リサイクル製品、県産品等)の使用。
- ・低騒音、排ガス対策型重機の使用。
- ・濁水・騒音・振動・粉塵防止対策の実施。

③個別項目の説明

- ・昨年度に引き続き現場でのアイドリングストップ運動などを現場職員に通知し、燃料使用量の削減に努めた。今年度は下請け工事が多く、従業員の通勤等による使用量が増加したため、ガソリン及び軽油において目標を達成することが出来なかった。
- ・電力の使用は皆の節電意識が高まった結果、基準年と同等の工事件数(売上高約1.6倍)であったが、概ね目標を達成することが出来た。今後一層の節電に努める。
- ・水道使用は蛇口の閉め忘れの防止、井戸水の利用により、昨年と同様に使用量を一定に保つことが出来た。今後も節水に努めます。
- ・循環資源としての地下水を事務所の清掃及び散水、工事現場の防塵対策等に使用しており、水道用水の使用量の削減に繋がった。
- ・産業廃棄物排出量については、基準年に比べて改良工事が少なかったため(基準年度5件に対し、今年度は0件)、廃棄物(コンクリート塊、As塊等)の発生が減少した。
- ・一般廃棄物排出量については、分別処理を徹底して行うことにより、目標を達成することが出来た。今後も削減、分別、リサイクルを徹底します。
- ・環境負荷の少ない工事については、今後工事着手前に「環境配慮工事チェックシート」を点検し、施工計画に反映させながら、(元請工事)100%に近づけます。

過去の実績

項目	単位	H21年度	H28年度目標	H28年度実績	H29年度目標	H29年度実績	H30年度目標	H30年度実績
		基準年 H21.10～H22.09	基準年より7%減 H28.10～H29.09	H28.10～H29.09	基準年より8%減 H29.10～H30.09	H29.10～H30.09	基準年より9%減 H30.10～R1.09	H30.10～R1.09
灯油使用量	ℓ	480	446	130	442	1,148	437	176
ガソリン使用量	ℓ	10,142	9,432	20,018	9,331	20,324	9,229	22,805
軽油使用量	ℓ	36,264	33,726	28,581	33,363	30,200	33,000	39,904
電力使用量	kWh	12,300	11,439	9,438	11,316	8,012	11,193	11,268
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	124,918	116,174	125,646	114,925	133,540	113,675	164,068
水使用量	m ³	74	69	66	68	41	67	41
一般廃棄物排出量	t	2.5	2.33	0.8	2.3	0.4	2.28	0.4
産業廃棄物排出量	t	989	920	516.7	910	1107	900	182
産業廃棄物再資源化率	%	99	97	99	97	91	97	94
グリーン購入量	%	70	90	90	90	90	90	90
環境美化活動	回	12	12	12	12	12	12	12
環境負荷の少ない工事件数	%	70	90	100	100	100	100	100

売上高百万円あたりCO₂排出量原単位

CO ₂ 排出量原単位	H21年度実績 基準年 H21.10～H22.09	H28年度実績 H28.10～H29.09	H29年度実績 H29.10～H30.09	H30年度目標 基準年より8%減 H30.10～R1.09	H30年度実績 H30.10～R1.09	目標比 実績値/目標値 (%)	評価
t-CO ₂	124	125	133	—	164	—	—
売上高(百万円)	215	436	397	—	349	—	—
売上高(百万円) あたりCO ₂	0.577	0.287	0.335	0.525	0.47	89.5	○

※評価 ○-目標達成 ×-目標未達成 △-目標の概ね達成

8.環境活動計画の取組結果とその評価

平成30年10月～令和元年9月

項目	活動内容	取組結果	評価	見直し	
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	・重機のアイドリングストップ活動の推進	良好である	○	引続き実施する
		・給油量を記録させ燃料使用量を計算する	良好である	○	記録抜けも無く、しっかり出来ている。引き続き実施する
		・現場間の移動の際は最短距離などを考慮し消費量を抑える	良好である	○	引続き実施する
		・定期的な車輛の保守点検	良好である	○	保守点検は徹底されている。引き続き実施する
		・タイヤの空気圧の点検	良好である	○	引続き実施する
		・過積載・速度超過をしない	良好である	○	良く出来ており、引き続き実施する
		・不要物を積み込まない	良好である	○	引続き実施する
	電力使用量削減	・急発進・急加速の禁止	良好である	○	引続き実施する
		・渋滞を避け、時間に余裕をもって出発する	良好である	○	引続き実施する
		・パソコンの電源は使用時以外は電源を切る(節電モードへ10分で移行)	良好である	○	引続き実施する
		・退席、退社時に必要の無い電気製品についてはコンセントを抜くなどして、待機電力の削減を図る	良好である	○	コンセントの抜き忘れも無く、しっかり出来ている。引き続き実施する
		・エアコンの温度管理を行う(夏季28度以上、冬季20度以下)	良好である	○	温度管理はしっかり出来ている。引き続き実施する
		・昼休み及び不使用部屋の消灯を行う	良好である	○	消灯は習慣となっているので、引き続き実施する
		・LED照明を導入していく	良好である	○	LED照明の導入は進んでいる。引き続き実施する
水使用量削減	・ウォームビズ・クールビズを推奨する(扇風機の適用等)	良好である	○	扇風機の適用は進んでいる。引き続き実施する	
	・使用に際してはこまめに蛇口の締め忘れがないかを確認する	良好である	○	蛇口の確認は習慣となっている。引き続き実施する	
	・事務所内の清掃及び散水は地下水(井戸)を使用する	良好である	○	引続き実施する	
	・雨水の貯蔵タンクや雨水利用施設の設置等により、雨水の利用を行う	良好である	○	引続き実施する	
	・節水シール等による節水の注意喚起	良好である	○	引続き実施する	
	・節水コマの設置	良好である	○	引続き実施する	
	・洗いのまとめ洗いの実施	良好である	○	まとめ洗いは良く出来ている。引き続き実施する	
廃棄物削減	・漏水の点検	良好である	○	引続き実施する	
	・廃棄物は種類別に分別する	良好である	○	分別は良く出来ている。引き続き実施する	
	・不要になったコピー用紙を再利用する	良好である	○	コピー用紙の再利用は定着している。引き続き実施する	
	・リサイクルの促進	良好である	○	引続き実施する	
	・マニフェストによる適正処理	良好である	○	引続き実施する	
	・詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により製品等の長期使用を進める	良好である	○	引続き実施する	
グリーン購入	・両面コピーの促進	良好である	○	引続き実施する	
	・使用物品等はエコマーク商品を増やす様努力する	良好である	○	引続き実施する	
	・環境負荷の少ない建設資材の使用、建設資材の使用合理化に取り組む	良好である	○	引続き実施する	
環境美化活動	・リサイクル品を購入し使用する	良好である	○	引続き実施する	
	・地域の清掃活動への参加	良好である	○	引続き実施する	
	・事務所周辺・現場周辺の清掃	良好である	○	引続き実施する	
	・ロードボランティア・河川愛護団体への参加	良好である	○	引続き実施する	
環境負荷の少ない工事实施	・公共交通エコポイント活用社会活動への参加	良好である	○	来年度からも参加する	
	・「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議	良好である	○	引続き実施する	
	・環境負荷の少ない材料(リサイクル材、再生骨材RC, RM等)を使用する	良好である	○	引続き実施する	
	・低騒音、排出ガス対策型重機を使用する	良好である	○	引続き実施する	
	・型枠、工事看板に間伐材を使用する(未利用資源の有効利用)	良好である	○	引続き実施する	
	・濁水・振動・騒音・粉塵防止対策の実施	良好である	○	引続き実施する	
	・環境負荷の少ない工法の提案・施工	良好である	○	引続き実施する	

環境活動計画の取組・資料

重機のアイドリングストップ活動の推進



パソコンは使用时以外は電源を切る



エアコンの温度管理を行う



使用に際してはこまめに蛇口の締め忘れがないかを確認する



廃棄物は種類別に分別する



不要になったコピー用紙を再利用する



事務所周辺・現場周辺の清掃



ロードボランティア・河川愛護団体への参加



低騒音、排出ガス対策型重機を使用する



9. 次年度の環境活動計画の取組内容

期間：令和元年10月～令和2年9月

項目	活動内容	担当者	期限	
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	○重機のアイドリングストップ活動の推進	矢野 雄幸	令和2年9月
		○給油量を記録させ燃料使用量を計算する		
		○現場間の移動の際は最短距離などを考慮し消費量を抑える		
		○定期的な車輛の保守点検		
		○タイヤの空気圧の点検		
		○過積載・速度超過をしない		
		○不要物を積み込まない		
		○急発進・急加速の禁止		
	電力使用量削減	○渋滞を避け、時間に余裕をもって出発する	松村 武展	令和2年9月
		○パソコンは使用時以外は電源を切る		
		○退席、退社時に必要の無い電気製品についてはコンセントを抜くなどして、待機電力の削減を図る		
		○エアコンの温度管理を行う(夏季28度以上、冬季20度以下)		
		○昼休み及び不使用部屋の消灯を行う		
		○LED照明を導入していく		
水使用量削減	○ウォームビズ・クールビズを推奨する(扇風機の適用等)	矢野 雄幸	令和2年9月	
	○使用に際してはこまめに蛇口の締め忘れがないかを確認する			
	○事務所内の清掃及び散水は地下水(井戸)を使用する			
	○雨水の貯蔵タンクや雨水利用施設の設置等により、雨水の利用を行う			
	○洗い物のまとめ洗いの実施			
廃棄物削減	○漏水の点検	矢野 雄幸	令和2年9月	
	○廃棄物は種類別に分別する			
	○不要になったコピー用紙を再利用する			
	○リサイクルの促進			
	○マニフェストによる適正処理			
	○詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により製品等の長期使用を進める			
	○両面コピーの促進			
グリーン購入量	○使用物品等はエコマーク商品を増やす様努力する	前田 美保	令和2年9月	
	○環境負荷の少ない建設資材の使用、建設資材の使用合理化に取り組む			
	○リサイクル品を購入し使用する			
	※商品の購入前に再度必要な物かを確認する			
環境美化活動	○地域の清掃活動への参加	矢野 雄幸	令和2年9月	
	○事務所周辺・現場周辺の清掃			
	○ロードボランティア・河川愛護団体への参加			
	○公共交通エコポイント活用社会活動への参加			
環境負荷の少ない工事実施	○「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議	矢野 雄幸	令和2年9月	
	○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、再生骨材RC, RM等)を使用する			
	○低騒音、排出ガス対策型重機を使用する			
	○型枠、工事看板に間伐材を使用する(未利用資源の有効利用)			
	○濁水・振動・騒音・防塵防止対策の実施			
○環境負荷の少ない工法の提案・施工				

※活動内容の追加

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度・測定時期	担当者	遵守結果	確認日
労働安全衛生法	第88条	労働基準監督署への計画の届出	対象工事毎	矢野 雄幸	遵守	○ R1・9・30
河川法	第24条 第26・27条	河川区域内において土地の占用、工作物の新設等、土地の掘削・盛土等を行う時は、河川管理者の許可が必要	対象工事毎	矢野 雄幸	遵守	○ R1・9・30
	第29条	1日につき50m ³ 以上の汚水又は排水の場合は河川管理者に届出	対象工事毎	矢野 雄幸	遵守	○ R1・9・30
水質汚濁防止法	第12条	事業者の排出口において排水基準に適合しない排出水を排出してはならない	対象工事毎	矢野 雄幸	遵守	○ R1・9・30
	第14条二	事故等により有害物質等を含む水が公共用水域に排出、浸透したことにより人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがある時は、直ちに応急の措置を講ずるとともに、速やかに事故の状況及び講じた措置の概要を県知事に届出	対象工事毎	矢野 雄幸	遵守	○ R1・9・30
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	対象工事毎	矢野 雄幸	遵守	○ R1・9・30
	施行規則 第8条	産業廃棄物の保管基準(縦60cm以上×横60cm以上)	対象工事毎	矢野 雄幸	遵守	○ R1・9・30
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約 多量排出事業者の届出を高知県知事への提出	対象工事毎	矢野 雄幸	遵守	○ R1・9・30
	第12条の三	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付	対象工事毎	矢野 雄幸	遵守	○ R1・9・30
	第12条の三 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 高知県知事への提出	年1回 6月	武島 祥	平成29年度分 遵守	○ R1・9・30
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	第5条	建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の低減努力	対象工事毎	矢野 雄幸	遵守	○ R1・9・30
	第5条 2	建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材の使用努力	対象工事毎	矢野 雄幸	遵守	○ R1・9・30
	第11条	再生資源利用計画書の作成提出	対象工事毎	矢野 雄幸	遵守	○ R1・9・30
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 建設作業開始7日前までに高知市長に届出提出	対象工事毎	前田 達也	遵守	○ R1・9・30
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 建設作業開始7日前までに高知市長に届出提出	対象工事毎	前田 達也	遵守	○ R1・9・30
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定	国土交通省告示 第三百四十八号	対策型ステッカー配布の建設機器使用	対象工事毎	矢野 雄幸	遵守	○ R1・9・30
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定	建設省告示 第千五百三十六号	対策型ステッカー配布の建設機器使用	対象工事毎	矢野 雄幸	遵守	○ R1・9・30
浄化槽法	第8条	浄化槽の保守点検	1回/3ヶ月	前田 美保	遵守	○ R1・9・30
	第9条	浄化槽の清掃	1回/1年	前田 美保	遵守	○ R1・9・30
	第10条	浄化槽管理者の義務		前田 美保	遵守	○ R1・9・30
	第11条	浄化槽の定期検査	1回/1年	前田 美保	遵守	○ R1・9・30
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (グリーン購入法)	第100号 第5条	環境に配慮した物品の購入	購入時	前田 美保	遵守	○ R1・9・30
高知県環境基本条例	第6条 第7条	事業活動に伴う環境への負荷の低減に努めなければならない	対象工事毎	矢野 雄幸	遵守	○ R1・9・30
フロン排出抑制法	第5条	重機の空調機器の簡易点検の実施 (第1種特定製品(エアコン 7.5kw以下)は簡易点検を実施し記録する)	1回/3ヶ月	矢野 雄幸	遵守	○ R1・9・30

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありません。なお関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

情報の報告				社 長 承認サイン
(環境管理責任者による報告) 報告日： 令和元年9月30日				社長の評価・指示 平成31年10月15日
〔取組状況の報告〕				〔環境方針〕 平成21年12月よりEA21の活動をスタートさせました。 環境方針は平成25年10月1日に改訂した。また、同方針は全社員に浸透しており、変更の必要性はないと見られる。 引き続き、環境方針に沿って活動を継続させること。 変更の必要性： 有 <input checked="" type="checkbox"/>
① 関連法規等の遵守状況 環境関連法規等への違反、訴訟はありません。				
② 問題点の是正処置状況 灯油及びガソリンの使用量について、毎月記録し、目標値と実績値との差を全社員に周知して削減に取り組む。 産業廃棄物廃物量について、毎月記録し、目標値と実績値との差を全社員に周知して削減に取り組む。				
③ 前回までの社長の指示事項への対応 指示：環境活動が全職員に浸透しているが、尚一層の努力を行うこと。 対応：環境活動計画に全職員で対応しました。				〔目標・活動計画〕 ガソリン及び軽油の使用量・CO ₂ 総排出量にて、目標を達成出来なかったが、CO ₂ 排出量原単位では、目標を達成出来た。
〔目標・環境活動計画の達成状況〕				
目 標 項 目	目 標 値 達成状況	環境活動 達成状況	コ メ ン ト	電力使用量及び産業廃棄物再資源化率にて目標を概ね達成出来た。来年は目標を概ねではなく、達成出来たとなるように、取り組むこと。 今後も全員で年間及び中長期を通じて環境目標及び環境活動計画を常に見直し、目標達成を成し遂げること。
灯油使用量	○	○	使用量が減少したため、目標値を達成出来た。	
ガソリン使用量	×	○	下請工事が多く、従業員の通勤等による使用量が増加したため、目標値を達成出来なかった。	
軽油使用量	×	○	工事の変更による重機の使用量が増加したため、目標値を達成出来なかった。	
電力使用量	△	○	パソコンの省エネモードの適用や昼間の消灯等を徹底した。引き続き徹底していきます。	
CO ₂ 排出量	総排出量	×	下請工事が多く、従業員の通勤等による使用量が増えたため、目標値を達成出来なかった。	
	原単位	○	売上高が良かったため、目標値を達成出来た。	
水使用量	○	○	循環資源としての地下水の利用を促進した。より節水に努めます。	
一般廃棄物排出量	○	○	分別処理を徹底したため、目標値を達成出来た。	
産業廃棄物排出量	○	○	廃棄物が減少したため、目標値を達成出来た。	
産業廃棄物再資源化率	△	○	廃棄物が減少したため、目標値を概ね達成出来た。	
グリーン購入量	○	○	エコ商品の購入は出来ています。引き続き徹底させます。	
環境美化活動	○	○	全社員で実施出来ました。定期的な実施を継続させます。	
環境負荷の少ない工事実施	○	○	目標値を達成できました。全工事(元請)で実施出来るよう、提案を含めて、創意工夫に努めます。	
〔周辺の変化の状況〕				〔環境経営システムの各要素〕 継続的に見直しを実施し、改善し、環境活動を推進すること。 現時点では環境方針、環境目標、環境活動計画等、環境経営システムは有効に機能しているので変更の必要は無い。 変更の必要性： 有 <input checked="" type="checkbox"/>
① 外部コミュニケーション記録より 工事開始前に、周辺住民等関係者にお知らせ等を配り、工事説明に努めており、外部からの苦情はありませんでした。				
② 環境関連法規等の改訂動向 特になし。				
〔改善への提案〕 法規制等の改定に関する情報を毎年1回(3月)環境庁,高知県,高知市のホームページ等で確認し、改定があれば、訂正します。				